

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター

住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1 階

TEL：052-954-6722

FAX：052-954-6993

開館：月～金 10～17 時



タイトル「はまださんへのぷれぜんと」



菅田南々美さん 7歳(小学1年生)

＜表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています＞

あおぞらの表紙の絵を描いてみませんか？ 興味が湧いたらご連絡ください。

①絵のタイトル ②絵の説明(30字程度) ③掲載するお名前 ④学年(年齢) ⑤保護者の方の連絡先(氏名・メールアドレスまたは電話番号)を明記のうえ、メールまたはFAXにてお送りください。

＜発送作業のボランティア募集＞

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？

3月10日号の予定			3月25日号の予定			お問合せ・お申込み
封入作業	3月9日(水)	午後	封入作業	3月24日(木)	午後	愛知県被災者支援センター TEL：052-954-6722 (渡邊)
発送作業	3月10日(木)	午前	発送作業	3月25日(金)	午前	

第5回全体交流会（速報版①）

2月11日（祝・木）に開催しました第5回全体交流会についてお伝えします。今年度は名古屋市熱田区にある名古屋国際会議場4号館白鳥ホールで開催し、59世帯、128人（大人79人、子ども49人）の方に参加いただきました。今号では速報版として、当日の様子を写真でご紹介します。次号は参加者の声をお届けしますので、ご期待ください。



＜大村秀章知事から皆さまが安心して暮らしていただけるようにと温かい励ましの言葉＞



＜栗田暢之被災者支援センター長＞



＜中村弘佳
名古屋市社会福祉協議会
地域福祉推進部長＞



＜たくさんの参加で盛り上がりました＞



＜相談を受ける岩手県の担当者＞



＜宮城県担当者による
相談コーナー＞



＜福島県の担当者に
相談する参加者＞

第5回全体交流会（速報版②）

今回の交流会では、皆さまの疑問や不安に応えるために、多くの専門家にご協力いただき、相談コーナーを充実させました。また、震災からもうすぐ5年、長きにわたる避難生活の疲れを癒していただくために、マッサージなどを受けられるリラククスコーナーも設置しました。こどもの広場では学生ボランティアをはじめ多くの方々にご協力をいただきました。



＜整膚コーナーでリラックスした人たちが施術を受けて賑わっていました＞



＜ひとり一人の状態に合わせてハーブティーを提供＞



＜名古屋市営住宅の相談の様子＞



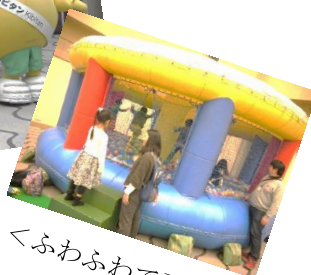
＜子どもたちも大勢集まって元気に遊びました＞



＜おもしろ科学実験教室の“飛ばして遊ぼう”を工作した子どもたち＞



＜ご当地ゆるキャラが揃ってごあいさつ＞



＜ふわふわで飛び跳ねてはしゃぐ子どもたち＞

スポットライト①

このような形で私の記事を載せていただくのは恐縮ですが、教員である私のささやかな活動について少し書かせていただきます。

長女が生まれた年、1986年に「チェルノブイリ原発事故」が起きました。事故当時から今まで、生徒たちにその話をよくしています。25年程前に「チェルノブイリ救援・中部」の呼びかけに応じて、生徒たちの廃品回収の収益金で放射能汚染されていない粉ミルクを、ウクライナに送ったことがあります。

近年は「福島第一原発事故」の時もその後も、自分自身でやれる支援活動をほとんどやれず心苦しく思っています。前任校では学校長の良き理解を得て、全校生徒たちに呼びかけて、福島の幼稚園に手作りのクリスマスカードと子ども向けの楽しいお遊戯を考えて作ったビデオレターを送り、子どもたちに喜んでもらえて生徒たちもとても喜んでいました。福島とつながったことで、生徒たちは原発事故について真剣に考えるようになりました。

定年退職後は、非常勤講師をしながら我が家のそばに2反の畑を借りて、野菜を作り皆さんに配っています。これまでの無農薬栽培の経験を生かして避難者の皆さんに喜んでいただくことができ

て、とてもうれしく思います。野菜を育てるとさわやかな喜びがあり、小さい子どもと遊ぶことも好きでとても充実しています。また畑で避難者の皆さんから、原発事故の時のことなどについてお聞きしたことは、とても貴重で、重みを感じます。

「3号機が爆発した時は、何の知らせもなく、すぐ近くで自分は畑の肥料をまいていた」「福島県から離れた茨城県でも放射線量がとても高いので、家業を辞めて家族を避難させる決断をした」「子どもを屋外で安心して遊ばせることができる幸せ」「外で布団や洗濯物を干すことができる幸せ」本やネットからの情報ではなく、避難された方から直接お聞きしたことは、とても衝撃的でした。畑で皆さんから聞いたことを、早速生徒たちにも話すと、とても真剣に聴いてくれます。今まで私がやってきたことはこのように生徒たちに活動を伝えていく程度のことです。

先日、生徒の保護者の方が、私に近づいてきて「先生は高校の時にチェルノブイリの話をしてくれた濱田先生ですか？」と聞かれました。30年ぶりのうれしい再会でした。また、近くの内科医にかかった時、その医師は教え子で、私が話した原発事故の話を覚えていてくれていました。またもや20年ぶりの懐かしい再会でした。

(知多市在住 濱田謙二)



＜濱田農園で水餃子作り中＞

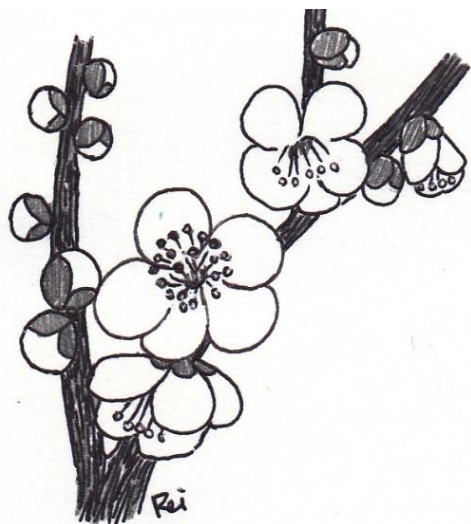


＜参加者でアンパンマンのマーチを合唱＞

濱田さんが支援センターにスイカを持ってきたことをきっかけに、被災者の方にも農業体験をしてほしいという話になり、農園で被災者の方たちにいろいろなイベントを企画し楽しんでもらっています。

インフォメーション

濱田農園 毎週土曜日または日曜日の午前中に、定植や収穫などを行います。無農薬野菜づくりに興味のある方は、愛知県被災者支援センター(榊原)までお問合せください。(TEL 052-954-6722)



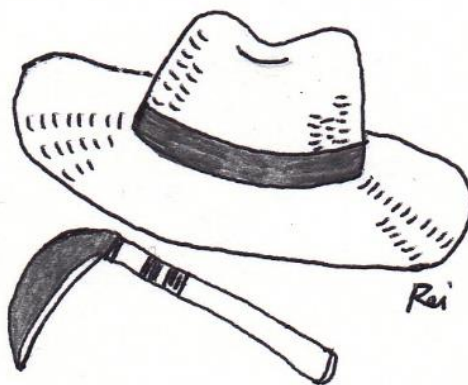
就職で愛知に来て 4 年目になります。東日本大震災はそのさらに 1 年前。私は岩手県盛岡市で震災にあいました。当時、大学院生だった私は、大学の建物の 3 階であの異様な揺れを体感しました。携帯から流れてきた「ピュン、ピュン、ピュン」という緊急地震速報の音や地震後の研究室の荒れ様、停電のために暖がとれず、布団に包まってラジオを聞いた経験は今でも忘れられません。

ご縁があって、今は愛知県内の高校で働いております。勤務 1 年目の防災訓練で、被災した経験を生徒たちに話すことになり、停電の夜の様子や命からがら助かった知人の話をしました。内陸部で被災したため、大した被害のなかった私が話し



ていいものかとも思いましたが、放送で話しているうちに目頭が熱くなってきて、その時初めてあの経験がいかにショックだったのかを思い知りました。被害の程度は人それぞれでも、あの地震のあの経験は被災した全ての人の心に爪痕を残したのだと思います。

今のところ東北に戻る予定はありませんが、つながりは持ち続けたいと思っています。私が勤務している学校では、毎年 1 回、希望する生徒を連れて宮城県の南三陸町へボランティアに行っています。仮設住宅や仮設商店街でお手伝いをするのですが、緊急の仕事はほとんどないため、草むし



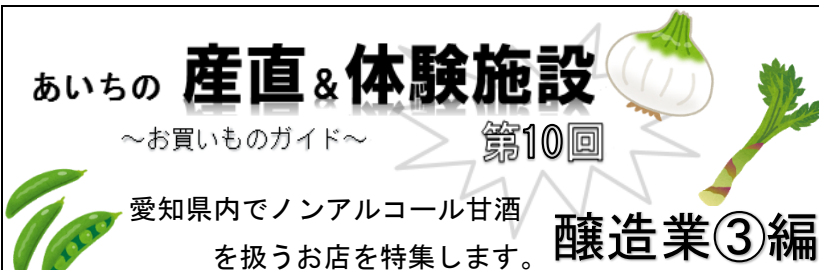
りや食器の片付けなどの雑用をやらせてもらっています。目的は現地の生に触れてくること。地元の方の話を直接聞いたり、映像で見た場所に実際に立ったり、造成して変わっていく街の姿をその目で見て、生徒はいろいろな思いをもって帰ってきます。少し成長して帰ってくる子どもたちの姿を見ていると、今東北のために私にできることはこれかなという思いになります。震災の記憶と次世代の人をつなぐこと。誰かの記憶に留めていくことが慰めになったり、新たな防災につながっていくような気がしています。

故郷からは少し離れてしまいましたが、この地で私にできることを精一杯がんばっていきたいと思っています。

(岡崎城西高校・教師 小川千晶)

※イラストはボランティアの渡邊礼子さんが描いてくれたものです。

あいちの **産直&体験施設**
 ～お買い物ガイド～ **第10回**
 愛知県内でノンアルコール甘酒
 を扱うお店を特集します。 **醸造業③編**



今月号で紹介していない産地直売所・ふれあい体験施設については、県農林政策課が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産産地直売所・ふれあい体験施設」でご覧になれます。



ひな祭りの飲み物として、白酒に代えてノンアルコールの甘酒がおすすめです。ノンアルコール甘酒は、お粥に米麴を混ぜ一晩発酵させて作られます。優しい自然な甘さで、お子さんも安心して飲めます。牛乳やヨーグルト、ココアを加えるなどアレンジも楽しめます。また健康飲料として、食欲不振時の栄養補給に「飲む点滴」とも言われています。ひな祭りにノンアルコール「甘酒」はいかがですか？



PICK UP

イオンモール常滑 直営店「MORITA」

場 所： 常滑市りんくう町 2-20-3

連絡先： 0569-89-2538

営業日時： 10：00～21：00 「イオンモール常滑」定休日に準ずる



ノンアルコールの甘酒は盛田の地元、常滑のイオンモール常滑内にオープンした「直営店・MORITA」で購入できます。甘酒ソフトクリームや麴を使った焼き菓子なども販売されています。また、知多半島・小鈴谷^{こすがや}にある醸造蔵を改装して作られた「盛田味の館」では、酒・豆みそ・たまりなどの醸造工程について、ビデオで知ることができます。



<愛知県内のノンアルコール甘酒を製造している直売所>

No	施設の名称	住所・場所	QRコード	連絡先
①	合資会社 野田味噌商店(蔵元榊塚味噌)	豊田市榊塚西町南山 6		0565-21-0028
②	山崎合資会社(尊皇蔵元)	西尾市西幡豆町柿田 57		0563-62-2005
③	九重味淋株式会社	碧南市浜寺町 2-11		0120-59-9939
④	なかの 中埜酒造株式会社	半田市東本町 2-24		0569-23-1231
⑤	かんきょう 甘強酒造株式会社	海部郡蟹江町城 4-1		0567-95-3131

●産直施設の営業時間は異なることがありますので電話で確認されると安心です。
 施設のホームページからも詳細を確認していただけます。





旬のお出かけ情報



～温泉施設②～

今回も 65 号に続き、愛知県内の温泉施設を紹介します。何かと慌ただしい日常からしばし離れ、心ゆくまでほっとするくつろぎの時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。まだまだ寒い日が続きます。風邪などひかれませんよう、お体には気をつけてお過ごしください。



PICK UP

松竹温泉 天風の湯(源泉名：藤の香)

泉 質： ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉

場 所： 江南市前飛保町栄 378-15

アクセス： 名鉄犬山線「江南駅」より名鉄バス「江南団地行き」にて「緑ヶ丘」徒歩 8 分

連絡先： 0587-53-4126



アピタ江南西店となりの大型日帰り温泉。源泉は敷地内地下 1,300m、毎分 72L 湧出するナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉を使用しています。源泉かけ流しや岩盤浴など充実した施設で人気です。

<愛知県内の温泉施設一覧>

No	名称・源泉名	泉質等	場所	アクセス	連絡先
①	尾張温泉東海センター(尾張温泉)	単純温泉	海部郡蟹江町蟹江新田佐屋川西 97	近鉄「蟹江駅」からタクシーで約 7 分	0567-95-3161
②	天然温泉アーバンクア(富士見温泉)	単純温泉	名古屋市中区富士見町 16-17 キャッスルタウン記念橋 3 階	地下鉄「東別院駅」徒歩 7 分	052-324-0261
③	天然温泉 白鳥の湯(白鳥の湯)	ナトリウム－塩化物温泉	名古屋市港区木場町 6-36	市バス「南陽通り 5 丁目」徒歩 3 分	052-694-1126
④	天然温泉 かきつばた(あいきょう刈谷ハイウェイオアシス－号源泉)	ナトリウム－塩化物温泉	刈谷市東境町吉野 55 (刈谷ハイウェイオアシス内)	JR「刈谷駅」にて公共施設連絡バスに乗り換え「刈谷ハイウェイオアシス」	0566-35-5678
⑤	健康の森プラザホテル(あいち健康の森温泉)	ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉	知多郡東浦町森岡源吾山 1-1	JR「大府駅」から知多バス 12 分	0562-82-0235
⑥	グリーンホテル三ヶ根(いけだゆげ温泉)	ナトリウム－炭酸水素塩温泉	西尾市東幡豆町入会山 1-287	JR「蒲郡駅」南口から送迎バスで 30 分	0563-62-4111
⑦	山田館(形原温泉)	アルカリ性単純泉	蒲都市金平町開戸 6	JR「東海三ヶ根駅」より タクシーで約 5 分	0533-57-6131

●詳しい情報は各施設のホームページ等をご確認ください。



スタッフ紹介 ～ 事務局 秀島敏文 ～

支援センターのスタッフになった経緯や今の思いを紹介していきます。

第16回は事務局スタッフの秀島敏文です。

昨年11月から支援センターでお世話になっています。それ以前は流通業の会社に勤務しておりました。土・日出勤でしたので、ボランティアは友人に誘われて年に数回参加する程度でした。ただ、阪神・淡路大震災の神戸市は母の故郷で、新潟中越地震の時は弟が単身赴任で新潟県十日町市に住んでいましたので、地震被害が身近なできごとと感じていました。

そして東日本大震災で東北地方が甚大な被害を受けたことを知り、多くの人の想いと同じように「何か自分の力で役立つことがないか」と考えたものですが、実際の活動までは至りませんでした。昨年秋の定年退職後に支援センターのことを知り、参加させていただくようになりました。これから少しでも皆さまの力になれるよう努めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



支援センターからのお知らせ

<編集後記>

- ★震災時、川俣町の中学生だった男の子が仙台の専門学校を卒業し、縁があって豊田市で就職します。皆さま、彼の応援をよろしくお願いいたします。(E.K)
- ★「蒲郡観光交流おもてなしコンシェルジュ検定」を受けました。地域のことを考えるいい機会になりました。(J.I)
- ★記録的な寒波で街は雪化粧。春はまだ先、皆さま御自愛くださいますよう。(T.N)
- ★愛知県美術館で開催中のピカソ展を見てきました。11歳の時のデッサンに、改めて舌を巻きました。(K.I)
- ★私は冬になると「寒いのは辛い!」と言い、夏になると「暑くて眠れない!」と叫ぶ、何と勝手な奴でしょうね。(H.T)
- ★地元地域の婦人会の役が回ってきて、会長のくじが当たってしまいました。ここから地元とのつながりを持っていく絶好の機会、やるからには楽しく、など負け惜しみ言っています。(K.T)
- ★チェルノブイリ被災者の現在の思いを聞く機会がありました。「困難を乗り越える強さを持って」という言葉に力をもらいました。(Y.Y)

<3月の交流会等イベントカレンダー>

開催日	イベント名	開催地域
3月5日(土)	ほんとの空が戻る日まで	東区
3月6日(日)	シンポジウム「365×5年」	熱田区
3月11日(金)	東日本大震災犠牲者追悼式	中区
3月12日(土)	なごやであそび隊 ～愛知のものづくりを知ろう!遊ぼう!体験しよう!～	西区
3月20日(日)	東日本大震災・被災者語り継ぎの集い	天白区

あおぞらに関する
ご意見ご感想はこちら



〒460-0001
名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎1階
愛知県被災者支援センター
TEL: 052-954-6722
FAX: 052-954-6993
Mail: aozora@aichi-shien.net

- 詳しくは定期便に同封のチラシをご覧ください。
- 皆さんのご参加をお待ちしております。